

AM A文化交流 安芸市民音楽祭に参加して

阿南合唱団団長 車田 マサ子さん（長生町）

昨年、第3回AM A文化交流会が安芸市で開催された。AM Aとは、阿南

(ANAN)、室戸(MUROTO)、安芸(AKI)の頭文字から名付けられた3市連携のシンボルネームである。

安芸市は、有名な作曲家、弘田龍太郎(1892年〜1952年)を生んだ童謡の里である。本年度は彼の生誕120周年記念にあたるため、その記念と第29回安芸市民音楽祭を合同で開催することになり、阿南合唱団が参加させていただいた。

弘田龍太郎は、いつまでも心に残る童謡を数多く作曲した人であり、「鯉のぼり」「叱られて」「浜千鳥」「雀の学校」「春よ来い」など、昔誰もが口ずさんだ曲がたくさんある。安芸市には、彼の曲碑が10基建立されている。

交流会に参加することが決まったのは7月上旬。市や県の合唱祭で発表した曲のほかに、弘田龍太郎を敬慕し、「浜千鳥」「靴が鳴る」を選曲し、鳥海俊江先生の指導のもと、練習に取り組んだ。

交流会は8月26日、団員25人と市文化協会の方々を含め36人で会場の安芸市民会館へ出発する。出発時に降り出

していた雨は、到着するなり晴れとな

午後1時30分から始まった本番のステージは、うたいやすい雰囲気になり、美しいハーモニーでうたい上げ、客席からの拍手を聞くなり、団員一同幸せなひとときを持つことができた。

その後、室戸市民合唱団が「雨よ春よ来い」をメドレーで、コーラスひなげしが「叱られて」ほかを、安芸市民合唱団が「鯉のぼり」ほかを熱唱した。さすが「童謡の里」であると感心すると同時に、弘田龍太郎の名曲の数々を美しい響きの合唱で聴くことができ、童謡のよさ、合唱の素晴らしさに浸ることができた。

音楽祭のフィナーレは、ステージと観客が一体となり「浜千鳥」を大合唱し、童謡の里らしい素晴らしい仲間の温もりが会場全体を包んでいた。

午後5時からの交流会は、文化協会や各合唱団の活動報告だけにとどまらず、各市の音楽を通しての地域への活動の様子や文化活動についても意見交換をした。安芸市民合唱団からは、「光のまち阿南」をもっと知りたい!とい

う意見も出され、LEDを使った「牛岐城趾」の輝く美しさを実際に見に来てほしいとお願いした。話は尽きなかったが交流会は終了となる。

合唱でつながり、「友情の輪」が大きく広がったこの一日は貴重な体験となり、思い出の1ページとなった。この日行けなかった曲碑巡りは、交流を深めて近いうちに実現させたいと思っている。安芸市民音楽祭に参加させていただいたことにより感謝するとともに、今後の音楽文化の向上やあらゆる文化の向上発展に微力であるが尽力していきたいと思っている。



第1号曲碑「浜千鳥」昭和53年建立

